

No.217

2018年
7月号

さくら

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

展示のご案内

★メイン展示

七夕物語 星空に願いを込めて

展示期間 7月26日(木)まで

7月7日の七夕にちなんで、今回の展示は「七夕物語」と題して、

- ・ 星空に願いを込めて
- ・ 夏のはじまり ひんやり涼しくおいしいレシピ
- ・ 地球環境を考える 7月7日はクールアースデイ (地球温暖化防止のため夜8時から10時までライトアップや家庭の照明の消灯を呼び掛けている)

という3つのコーナーを用意して皆さまをお待ちしています。ぜひお立ち寄りください。

★サブ展示

7月16日は「海の日」

展示期間 7月26日(木)まで

7月16日は「海の日」。海にちなんだ本・物語・絵本を集めてみました。



●サブ展示図書(抜粋)

「海のいのち」・「私、海の漁師になりました」
「漂流物」・「オーシャンワールド」 ほか

《図書館より》

篠山中学校の生徒さんが職場体験学習に来てくれました。本の貸出や返却作業などを2日間にわたって真面目に取り組んでくれました。



●メイン展示図書(抜粋)

「たなばたさま」・「ねがいぼし」
「異常気象を知りつくす本」・「earth(アース)」
「アイスクリームのあゆみ」・「極上かき氷」 ほか

読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

偽姉妹

山崎ナオコーラ 著
中央公論新社

自由な時代なのに、姉妹だけ選べないのはおかしいと正子は思っていた。35歳、シングルマザーの正子は宝くじを当て姉妹のメンバーチェンジに挑戦した。

まったく新しい家族の作り方を模索する、ポップで自由な家族小説です。

結婚とか、妊娠とか、出産とか、親戚という考えに囚われずに共に生きたい人と生きるという選択。ありふれた幸せや家族像を打ち砕く一冊です。

(岡村)

(児童)

そうべえときじむなー

たじまゆきひこ 作
童心社

『じごくのそうべえ』からシリーズ6作目となる今回、舞台は沖縄。寒くてたき火にあたっていたそうべえ達。暖かい南のくにを目指し、気球で旅立つことに。そんな中危ない状況を助けてくれたのは妖怪きじむなー。果たして、そうべえ達は沖縄の温かさにふれることはできるのでしょうか!?! 軽快なテンポにユーモアがたっぷり詰まったシリーズ最新作です。

(樫田)

(一般)

認知症で使えるサービス・しくみ・お金のことがわかる本

田中元 著
自由国民社

2020年には、65歳以上の高齢者の約6人に1人が認知症患者になるそうです。

この本には、認知症とはどんな病気なのかという基礎知識から相談窓口、認知症支援のための医療と介護のサービス等、今、知っておきたい情報が載っており、支援のしくみや流れがどうなっているかを知ることができます。

(猪俣)

(児童)

目に見えない微生物の世界

エレヌ・ラッジカクほか 著
河出書房新社

私たちのまわりには、目には見えない小さな小さな微生物の不思議で奇妙で美しい世界があるのを知っていますか？海洋プランクトンのダンス、川の小さな住人の勇敢な戦い、ベットの中のマイクロジャングル…。そんな微生物の世界を色鮮やかに大迫力で描いた本書は、子どもたちの好奇心をくすぐること間違いなし！細かいところまで正確で科学的にも信頼できる一冊です。

(山口)

すくも郷土かるた大会

山下量子

大江卓研究会である「卓囲会（たぐいかい）」で作った宿毛郷土かるたについてはここに何度か紹介させてもらったが、今年の6月に、念願叶って「すくも郷土かるた大会」を開催することが出来た。かるたで郷土のことを知ってもらい、愛着を感じてもらおう。そんな大江貞男会長のアイデアから始まった宿毛郷土かるた。かるたの完成は、ゴールではなく、スタートにすぎない。このかるたを浸透させて、たくさん子どもたちに遊びながら郷土を学んでもらうことこそ、私たちの目的である。その一歩となる記念すべき第一回かるた大会が、改修後間もない林邸で6月23日（土）に行われたのだ。今回の対象は、子どもたちのみ。

当日、まだ木の香りが残る林邸に足を踏み入れると、もわっとした熱気を感じた。すると広い林邸の畳を埋め尽くすほど小学生の子どもたちが集まっているではないか。人数は50人以上と聞いてはいたが、当日は、雨にもかかわらず付き添いや応援なども含めると70人くらいはいたのではないかと思う。正直、出来たばかりの林邸は、どこか飾り物のような、少し近寄りたがたい高価な置物のような雰囲気を感じていたが、この時の林邸は違った。子どもたちが駆け回り、わいわいと声が飛び交う。熱気とともに林邸はまるで血が通ったように生き活きしているように見えた。まさに市民の憩いの場となっていた。

教育委員会が具体的に実務を進めてくれたこのかるた大会。大会のルールやチーム対戦の決まり事などを、手慣れたスタッフの方が説明してくれる。そしていよいよかるた大会が始まった。

開始からまもなく、私は驚いた。

初めてかもしれない。

こんな子どもたちの姿を見るのは…。

畳に無作為に広げられたかるたを目前に、一対一で子どもたちが向かい合う。その表情は、真剣そのもの。頭文字を聞き逃すまいと熱心に読み句を謳う声に耳を傾ける子どもたち。時には対戦相手に届くほど、手を伸ばしかるたをとる。それは一瞬の動きで、その俊敏さに凄いなあと感心した。3人で形成されたチームでの対戦は、9枚のかるたが終わると、人を替え、また対戦する。つまり全部で27枚のかるたを競って取り合うのだ。取ったときには喜び、取れなかったときには悔しがる。負けたと言って、母親にしがみついて泣いている子どもも見かけた。

私が驚いた理由は、現代の子どもは、ゲームばかりして、自分の世界にこもっているよう

ないイメージを勝手に持っていたからだ。

しかし、目の前にいる子どもたちは、真剣に戦い、悔しがり、挑戦し、努力を惜しまない。時には応援し、友情があるのも見て取れた。こんなにも子どもたちが情熱的だなんて知らなかった。

つい最近、子ども教育のセミナーに参加した時間いたことがあった。近頃の子どもは、それこそゲームばかりしたりして、また共働きの多い親のもとで育つ子が多く、例えば親とのキャッチボールなどそういった遊びもあまりしなかったり、私が子どもの頃よくやったかくれんぼや、野山を駆け上ったりなんてことはしない。するとどうなるか。空間認識が鈍くなるのだと言う。その真偽はさておき、このかるた大会は、実は空間認識を鍛えられることに気づいた。

どこに絵札があるかを見極め、自分の手とその絵札までの距離を瞬時に判断し、届くように伸ばす。どれだけの距離か、どの方向か計算し、動く。それは、視覚からの二次元情報を空間の中にある自分の身体の位置も含めて判断することであり、まさに空間認識能力である。さらにそれは一瞬の判断であり、相当な集中力も必要とされる。なおかつチームで動くと言う事は、より協調性を身につけ、コミュニケーション能力を発達させ、さらには仲間意識を深めるだろう。そして他の学校の子どもたちとの触れ合いも作り、また、悔しかったり嬉しかったりというそういった感情を感じられるという意味においても、このかるた大会は、ものすごく、ものすごく豊かな空間であることに気づいた。

また、畳という触感やかるたを触るという行為も、視覚・聴覚に加え触覚も刺激する。かるた大会が、こんなにもありがたい副次的効果があるとは思ってもみなかった。このかるた大会を続ければ続けるほど、子どもたちの教育や成長に必ず良い影響を与えると私は確信した。

そして何よりも嬉しかったのは、たくさんの人々が考えて投稿してくれたかるたの句。それを暗記して口ずさむ子どもたちの姿だ。その姿を見て何とも言えない喜びがこみ上げてきた。ああ、かるたを作れて良かった。本当に良かった。そう思った。発案の大江会長はそれ以上の感激だったに違いない。

いま、広瀬すずなどが出演している人気の映画「ちはやふる」は、百人一首の競技かるたに情熱をささげる高校生の話だ。この映画のように、この町にかるたがブームとなって、宿毛が「かるたの町」とでも言われるようになったら本望だな、そう思ったことだった。

～新着図書のご紹介～

一般図書



- 0 「たすけて!エクセルがむずかしいっす」
みやしたゆきこ
- 2 「深夜航路」 清水浩史
- 3 「ハローワーク採用の絶対法則」 五十川将史
- 4 「スタンフォード式疲れない体」 山田知生
- 5 「さよさんの片づけが大好きになるベストアイデア」
小西紗代
- 7 「プロが書けない『将棋界』」 島津六
- 9 「火のないところに煙は」 芦沢央
- 9 「ライトマイファイア」 伊東潤
- 9 「スタンドアップ!」 五十嵐貴久
- 9 「完全犯罪の死角 -刑事花房京子-」 香納諒一
- 9 「官邸襲撃」 高嶋哲夫
- 9 「さしすせその女たち」 柳月美智子
- 9 「憂鬱な10か月」 イアン・マキューアン
- 9 「奥のほそ道」 リチャード・フラナガン
- 9 「六月の雪」 乃南アサ
- 9 「愛することば あなたへ」 瀬戸内寂聴
- 9 「噛みあわない会話と、ある過去について」
辻村深月
- 9 「偽姉妹」 山崎ナオコーラ
- 9 「怪しくて妖しくて」 阿刀田高
- 9 「ファーストラヴ」 島本理生
- 9 「ロンリネス」 桐野夏生
- 9 「絶望キャラメル」 島田雅彦
- 9 「工具箱はささやく」 長岡弘樹

※左側の数字は図書の分類を表しています。
0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- 「サナギのひみつ」 三輪一雄
- 「ひきがえるにげんまん」 最上一平
- 「うさぎのマリーのフルーツパーラー」
小手鞠るい
- 「昆虫の体重測定」 吉谷昭憲
- 「しっぽがない! -コアラとヒトのしっぽのなぞ-」
犬塚則久
- 「ゆっくりおやすみ、樹の下で」 高橋源一郎
- 「しゅくだいクロール」 福田岩緒
- 「バイオロギングで新発見!」 中野富美子
- 「キリンの運びかた、教えます -電車と病院も!?-」
岩貞るみこ
- 「たすけあいのひみつ」 トミイ大塚

絵本



- 「あのねあのね」 えがしらみちこ
- 「おしっこちょっぴりもれたろう」
ヨシタケシンスケ
- 「ぼく、おたまじゃくし?」 田島征三
- 「へんしんたんてい」 あきやまただし
- 「おしりどろぼう」 陣崎草子
- 「谷戸であそぼう -夏-」 相川明子
- 「ねるじかん」 鈴木のりたけ
- 「はなびのひ」 たしろちさと
- 「そうべえときじむな-」 たじまゆきひこ

★このほかにもたくさんの図書が入っております。
図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、
そちらもぜひご覧ください。

7月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日 10:00～18:00 ■ は休館日
 ホームページ <http://www.city.sukumo.kochi.jp/sbc/library/index.html>
 メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp